

キッズサポート部 会員からのメッセージ

キッズサポート部のメンバーが入会したきっかけや、読み聞かせ活動への熱い思いを語ります。きっかけも思いも様々ですが、子どもたちにおはなしの楽しさを伝えたい気持ちは全員共通です。ご興味ある方、見学もできますので、お気軽にお問い合わせください。キッズサポート部一同お待ちしております！！



子どものころから本を読むのが好きで、また気に入った文章や詩を声をして読むのが好きでした。L.V.S.に興味を持ち、ボランティアガイドに参加して、キッズサポート部の活動を知った時に是非やってみたいと思いました。

最初のころは自分が読みたい絵本を選んでいて、聞いてくれる子どもたちのことはあまり考えていなかったように思います。今考えると冷や汗ものです。それが勉強会に参加したり先輩の会員の方に色々教えてもらうにつれ、どんな絵本を選んだらいいか、話し方やページのめくり方、どうしたら楽しんでもらえるか、ということに意識がいくようになりました。実際に読み聞かせをするたびに、ああすればよかったなどと思うことしきりですが、それでも子どもたちがお話の内容に反応してくれたりすると、この絵本を選んでよかったなと思います。

また、私は日本や世界の昔話が好きなのですが、今の子供たちに面白いと思ってもらえるか不安でしたが、意外と面白そうに聞いてくれます。これからもいろいろなお話をしていきたいと思っています。

T. I.

私が読み聞かせのボランティアに参加させていただくようになって6年。様々な経験をさせていただきました。

自分の仕事にも通じるところがあって興味を持ち、一步を踏み出したのが最初です。読み聞かせ初心者でしたが、先輩方の指導のおかげで今も楽しく続けられています。

いつも聞きに来てくれる子どもたちに、どうやってこの絵本を伝えようかな、届けようかなと考えながら読むのがとても楽しく、でも難しいところだなと思います。だって子どもたちはそれぞれの感性で、読んだそばからその世界観を広げていっているなあと感じることがあるからです。そんな中でも、自身が幼少期に絵本から受け取ったもの、大人になってから新しい視点で見えたもの。そのほんの一欠片でも手渡すことができたらいいなあと思います。

Y. S.

私には息子が3人、孫が5人います。上の2人の息子は 保育園入園時は2才と1才。末の子は4ヶ月で母乳を与えながら、お知り合いの幼稚園の元先生ご家族4人から、5人目の家族のようにかわいがっていただきました。末の子が入園してからは目まぐるしい日々でしたが、園生活は子どもたちにとって宝となりました。聞くことや話すことなど集団の中で身につきました。3人は私の知らない間にたくさんの本に出会いました。

今の私は図書館で子どもたちだけでなく、一緒に来てくださるママ、パパ、妊婦さんのためにも絵本や紙芝居を読んでいます。大人の方々も一緒に自然体で聞いてくださってうれしいです。

またある時、紙芝居を読み終えた後に、何年も聞きに来てくれている男の子が恥ずかしそうにママと傍に来て、「ありがとう」と言ってくれました。今の時代でも、会話のツールが画面を通してではなく、生の声で読み聞かせをし、生の声でお礼の言葉をいただける。私からも常に「ありがとう」です。今もその男の子は聞きに来てくれて、成長をたくさん見ることができ幸せな私がいます。

Y. Y.



イラスト：わんぱぐ



入会・見学のお問い合わせは
こちらから →

